

生物化学的測定研究会 第20回学術シンポジウムプログラム

「免疫測定方法の進化を加速する抗体作製の先端研究」

「抗体」は、免疫測定方法において、その性能（感度や特異性）を支配する「キー試薬」である。実用的な測定系の確立には、分析対象物質（抗原）に特異的で親和力の高い抗体が必須である。今日、過免疫動物の脾細胞を用いるハイブリドーマ法によりモノクローナル抗体（クローン化した“天然の抗体”）を調製するのが標準的と言えるが、その産生効率の向上を目指した様々な変法が開発されている。その一方で、*in vitro* で改変あるいは化学合成した抗体遺伝子を発現させて得られる“人工抗体”も既に実用段階にまで進化している。本シンポジウムでは、細胞・分子生物学の手法を駆使した特異抗体作製の先端研究について、4名の講師のご講演を拝聴する。抗体関連の分野に関心を持つ方々にとって、討論と親睦の好機となることを期待している。

■期日：2015年（平成27年）11月13日（金）13:00～17:00（受付12:30～）

■会場：神戸薬科大学 10号館 4F会議室

（兵庫県神戸市東灘区本山北町4-19-1、アクセスは会場案内参照）

■オーガナイザー：小林 典裕（神戸薬科大学 教授）

■プログラム	
開会の挨拶と趣旨説明 オーガナイザー	13:00-13:20
座長 荒川 秀俊(昭和大学薬学部 教授)	
講演1. 簡単に作製できるモノクローナル抗体: 腸骨リンパ節を用いて作る抗体 重井医学研究所 免疫部門特任研究員 佐渡 義一	13:20-14:00
講演2. 試験管内親和性成熟による実用抗体の創製: 低分子バイオマーカーを例に 神戸薬科大学 助教 大山 浩之	14:00-14:40
休憩	14:40-14:50
座長 上田 宏(東京工業大学 教授)	
講演3. 次世代シーケンサーを用いた網羅的配列解析によるファージライブラリからの特異的抗体の効率的同定法 鹿児島大学 教授 伊東 祐二	14:50-15:35
講演4. 試験管内抗体作製系を利用した困難抗原に対する抗体作製 東京大学大学院 教授 太田 邦史	15:35-16:20
総合討論・総括 神戸薬科大学 教授 小林 典裕	16:20-16:50
閉会の辞 生物化学的測定研究会会長(神戸薬科大学 教授)小林 典裕	16:50-17:00
情報交換会	17:15-19:30

参加費：会員；3,000 円（要旨集込み）、非会員；5,000 円（要旨集込み）、
学生；参加費無料（要旨集 2,000 円）

情報交換会参加費：5,000 円

会場案内：

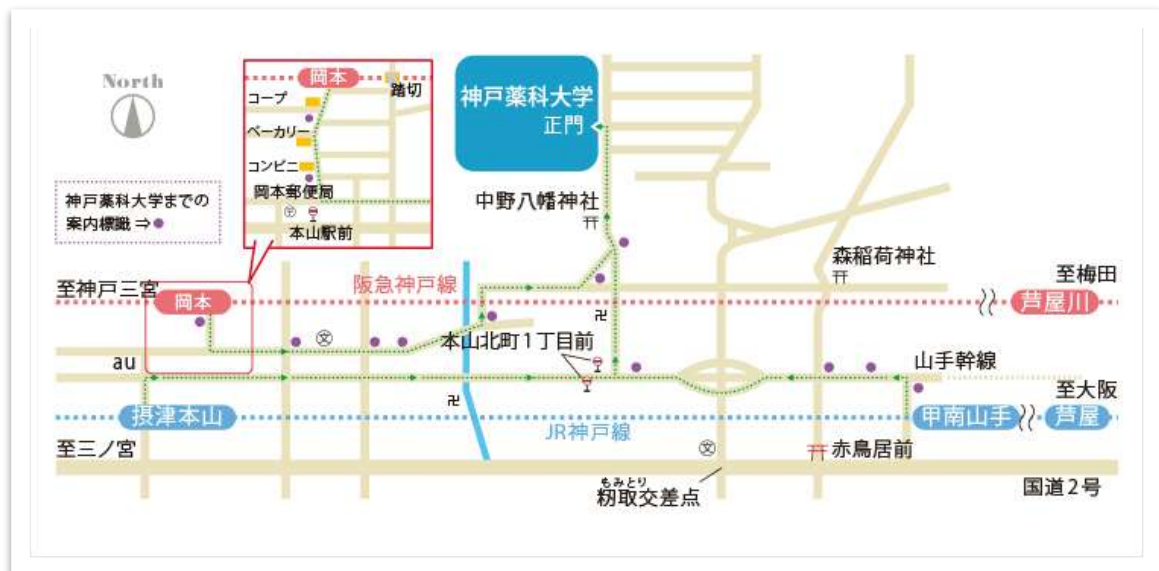
【住所】 〒658-8558 兵庫県神戸市東灘区本山北町4-19-1

【アクセス】 JR「摂津本山」駅及び阪急電鉄「岡本」駅から北東へ徒歩約15分

JR「甲南山手」駅から北西へ徒歩約13分

阪神電鉄「深江」駅から北へ徒歩約20分

【地図】



問合先：生物化学的測定研究会事務局（担当：照沼）

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町2-7-1

京都電子工業株式会社 東京支店内

TEL：03-5227-3151 FAX：03-3268-5592

E-mail：kem.basj@kyoto-kem.com

HP：<http://www.basj.info>

参加申込

(1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (03-3268-5592)

(2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 (kem.basj@kyoto-kem.com)

(3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第20回学術シンポジウムの参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

交流会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

*参加費は当日受付でお支払い下さい